

二十七番 小林 義和でございます。

私から、本市議会臨時会におきまして、建設企業委員会に付託されました議案の審査の結果につきまして御報告申し上げます。

審査の結果につきましては、お手元に配布されております建設企業委員会決定報告書のとおり決定した次第であります。

次に、委員会において論議され、市当局に要望いたしました主なる事項について申し上げます。

今回、当委員会に付託された補正予算は、国の補正予算成立による「きめ細かな交付金」などを活用し、急激に冷え込んでいる本市の景気を切れ目なく刺激していくため、来年度以降に予定されていた単独事業や国庫補助事業といった公共事業を積極的に前倒しするものであります。

初めに、議案第一号 平成二十二年度長野市一般会計補正予算のうち、歳出、第八款土木費、第二項道路橋りょう費について申し上げます。

生活道路の維持補修や新設改良事業は、地元地区からの要望が大変強い事業であります。予算や工期の関係から優先順位をつけて行うこともあり、すべての要望にこたえることが困難な状況となっております。

そこで、現地調査による地元要望実施率の向上に向け、最大限努力するよう要望いたしました。

併せて、生活道路の維持補修や新設改良を初めとする小規模工事については、できる限り多くの地元事業者に発注していくよう要望いたしました。

続いて、第四項都市計画費について申し上げます。

さきに行った都市公園や遊園地の遊具の安全点検の結果、八十基について「主要部に異常があり、大規模な修繕又は破棄し更新が必要」と判定がされたとのことです。近年、全国的に遊具による事故が多発していることから、本市での事故の発生が懸念されるところであります。

そこで、このたびの補正予算により、この八十基を早期に撤去し更新することとありますが、今後も遊具の点検を強化し、利用者の安全確保のために最大限努めるよう要望いたしました。

次に、建設部、都市整備部に共通して申し上げます。

今回の補正予算には、多額の繰越しが見受けられます。説明では、工事発注のための調査や工期などが必要なことにより、年度内しゅん工ができないとのことですが、緊急経済対策の趣旨から、早期の発注が求められております。

そこで、庁内関係各課や地元との連携を密にして、早期の発注が可能となる体制づくりを求めました。

最後に、市当局におかれては、今後も積極的な公共事業の前倒しにより内需の喚起に努め、この難局を乗り越える努力を切に望むものであります。

以上で報告を終わります。